



©和光市

和光市教育大綱

和光市教育大綱

(令和4年度～令和7年度)



©和光市

和光市教育大綱の策定について

令和3年5月に市長に就任いたしました柴崎光子です。

教育の充実は、私が重視する4つの現場の1つであり、市の施策の中でもとりわけ重要なものであると考えています。自分で考え行動する子どもを育てるとともに、人生100年時代における全世代の市民にとっての生きがいを作っていく必要があります。

和光市では、「みんなをつなぐワクワクふるさと和光」を将来都市像とした第五次和光市総合振興計画のもと、福祉、コミュニティ施策とも連携した教育行政を進めています。そして、今、「生きる力」の育みやデジタル社会への対応などをはじめ、教育を取り巻く環境は大きな転換点を迎えており、国や県の教育振興基本計画で示された潮流を本市の教育にもしっかり取り入れていきたいと思ひます。

そうした新しい時代に相応しい和光の教育を創っていくため、本市の教育に関する大局的な指針として、和光市教育大綱を定めます。



令和3年11月 和光市長 柴崎 光子

◆◆基本理念◆◆

生涯にわたる自発的な学びと、豊かで健やかな人生の実現を支援する教育

基本方針1

学びの基礎となる確かな学力の習得と、社会性を育む義務教育の推進

基本方針2

地域特性を生かし、生涯継続する学びを支援する社会教育の推進

基本方針3

福祉、コミュニティ施策との密接な連携による地域・家庭教育の推進

基本方針4

デジタル技術の進化に即した情報教育の推進

基本方針1

学びの基礎となる確かな学力の習得と、社会性を育む義務教育の推進

○背 景

- > 学習指導要領において、確かな学力とは、基礎的な「知識」・子どもたちの「学ぶ意欲」や「思考力・判断力・表現力」を含めた幅広い学力としている。
- > 道徳の教科化に伴い、道徳教育の充実が必要である。
- > 少子化の進展やパソコン等の情報機器の普及により、友達と遊んだり、他人と協力し合うといった社会性や対人関係能力を身に付ける機会が減っている。



○内 容

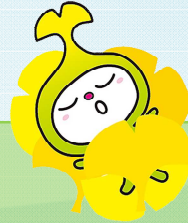
- ・ 「確かな学力（＝知）」 「豊かな人間性（＝徳）」 「健康・体力（＝体）」 のバランスの取れた「生きる力」を育む。
- ・ 理数系や社会科学系の学びに加え、グローバル社会で活躍できる人材を育てる。
- ・ 自らがかけがえのない存在という自己肯定感を育み、確かな人権感覚を身に付けられるよう人権教育の充実を図る。
- ・ 多様な子どもたちの資質・能力を育成するために、誰一人取り残さない学びの充実を図る。

基本方針2

地域特性を生かし、生涯継続する学びを支援する社会教育の推進

○背 景

- ＞ 人生100年時代を迎えていることから、社会教育活動について、より幅広い市民が参加していく意義が高まっている。
- ＞ 生まれ育ちが和光市ではない市民が多いことなどもあり、地域への愛着が低く、多種多様な歴史資源・自然資源などがあるものの、市民に広く認知されていない。



○内 容

- ・ 人生100年時代において、市民一人一人が生きがいのある人生を送れるよう、生涯にわたって学ぶことのできる環境を作る。
- ・ 理化学研究所などの知的資源の積極的な活用を図り、幅広い世代の学びに対応した学習機会を提供する。
- ・ 和光市の歴史や自然環境など地域性に関する学びの場を通して、地域への愛着・シビックプライド（※）を高める。

※シビックプライド：住んでいるまちに対する市民の誇りのこと。自分自身が関わって地域を良くしていこうとする、当事者意識に基づく自負心。

基本方針3

福祉、コミュニティ施策との密接な連携による地域・家庭教育の推進

○背 景

- > 転入転出が多い和光市においては、自治会などの地域コミュニティに属さない市民が多く、子どもたちを育む地域力の向上が必要となっている。
- > 核家族化やひとり親家庭の増加、児童虐待や不登校など子どもを取り巻く環境の変化や育ちをめぐる課題などが複雑化している。



○内 容

- ・ 福祉・コミュニティ施策と教育を密接に連携させ、大人と子どもが触れ合える環境を作り、誰一人取り残さない地域の教育力を高める。
- ・ コミュニティ・スクール（※）の推進を通じて、地域と学校が相互に連携・協働していく。
- ・ 地域でともに生きる和光市民として、豊かな人間性と社会性を育む。

※コミュニティ・スクール： 広く地域関係者が学校運営協議会を通じて学校に係る課題等を検討する仕組み

基本方針4

デジタル技術の進化に即した情報教育の推進

○背 景

- > Society5.0（※）に向けて、デジタル技術の革新に対応した教育の充実が求められている。
- > GIGAスクール構想（※）に伴い、児童生徒一人1台学習端末の整備と併せて、学校のデジタル環境の整備を行った。
- > 教職員の働き方改革が求められている。



○内 容

- ・ デジタル技術の進化に即した情報教育を推進することで、社会の大きな変化に対して新たな価値を創造できる資質・能力を育む。
- ・ 新たなICT環境や先端技術を効果的に活用することにより、個別最適な学びや協働的な学びを推進する。
- ・ 教育現場におけるDX（※）化により、教職員及び保護者の負担の軽減化を推進する。

※Society5.0：サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を融合した取組により、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会を指す。

※GIGAスクール構想：義務教育を受ける児童生徒のために、一人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境などを整備する構想のこと。

※DX：デジタルトランスフォーメーションの略称。ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。